

上富良野町立病院改築工事評価選定委員会
審査結果及び講評

令和4年7月29日

上富良野町立病院改築工事評価選定委員会

1. 上富良野町立病院改築工事評価選定委員会

上富良野町立病院改築工事評価選定委員会（以下、選定委員会）を設置し、総合評価落札方式による新病院改築工事の落札者決定に係る審査を行った。

(1) 選定委員会委員

（令和4年3月31日まで）

職名	氏名	所属・役職
委員長	森 傑	北海道大学大学院工学研究院建築都市部門 教授
副委員長	佐藤 雅喜	上富良野町 副町長
委員	渡邊 純一	一般財団法人北海道建設技術センター 建築部長
委員	北川 徳幸	上富良野町立病院 事務長
委員	宮下 正美	上富良野町 総務課長
委員	狩野 寿志	上富良野町 建設水道課長

（令和4年4月1日から）

職名	氏名	所属・役職
委員長	森 傑	北海道大学大学院工学研究院建築都市部門 教授
副委員長	佐藤 雅喜	上富良野町 副町長
委員	鈴木 伸広	一般財団法人北海道建設技術センター 建築部長
委員	長岡 圭一	上富良野町立病院 事務長
委員	北川 徳幸	上富良野町 総務課長
委員	狩野 寿志	上富良野町 企画商工観光課長
委員	菊地 敏	上富良野町 建設水道課長

(2) 選定委員会開催状況

区分	日程	概要
第1回	令和4年3月7日	(1) 委員長及び副委員長の選任 (2) 事務局より説明 ア. 所掌事務 イ. 落札者決定までの流れ (3) 審議事項 ア. 入札参加要件 イ. 要求水準 ウ. 落札者決定基準
第2回	令和4年6月20日	《第1部》 (1) 事務局より説明 ア. 新規委員の紹介 イ. VE提案概要及び採否案 《第2部：VE提案者ヒアリング》 (1) VE提案の内容説明 (2) 質疑応答 《第3部》 (1) 審議事項 ア. VE提案採否について イ. 技術提案書の審査方法について（落札者決定基準別表における評価基準）

第3回	令和4年7月22日	《第1部：VE提案に関する補足説明》 (1) 事務局より説明 ア. 技術提案書に反映したVE提案の詳細内容及び追加資料 《第2部：技術提案ヒアリング》 (1) 技術提案書の内容説明 (2) 質疑応答 《第3部：審査》 (1) 審議事項 ア. 技術提案書の評価について イ. 落札候補者の決定について
-----	-----------	--

2. 公募スケジュール

区分	実施内容	実施期間及び期日
公 告	募集要項等配布	令和4年4月1日(金)
参加資格審査	質疑受付期間	令和4年4月4日(月)から 令和4年4月8日(金)まで
	上記に係る質疑への回答	令和4年4月15日(金)まで順次
	入札参加表明書受付期間	令和4年4月22日(金)まで
	入札参加資格の確認結果通知及び入札書・技術提案書の提出要請の送付 参考見積書の要請	令和4年5月13日(金)
VE提案審査	基本設計書・VE提案項目・要求水準書等に係る 質疑の受付期間	令和4年5月18日(水)まで
	上記に係る質疑への回答	令和4年6月3日(金)まで順次
	VE提案および参考見積書の受付期間	令和4年6月7日(火)まで
	VE提案ヒアリング	令和4年6月20日(月)
	VE提案の採否通知	令和4年6月24日(金)
技術提案審査	入札書・技術提案書の受付期間	令和4年7月8日(金)まで
	技術提案ヒアリング	令和4年7月22日(金)
選定結果通知	最終審査結果通知	令和4年7月27日(水)

3. 落札者決定基準

(1) 落札者の決定方法

落札者の決定にあたっては、入札参加申込みのあった者のうち参加要件を満たす者に対し、入札書・技術提案書及びVE提案の提出を求め、VE提案の採否を審査し、採否通知後に技術提案審査により、評価点が最も高い者を落札候補者として選定する2段階審査選考方式を採用した。

評価は、実績評価項目及び技術提案項目の評価点（技術評価点）と価格項目の評価点（価格評価点）を合計した評価点（総合評価点）によることとした。

選定委員会は落札候補者の選定結果を町に報告し、これを踏まえて町が落札者を決定した。

(2) 評価事項に対する配点

評価区分・評価項目			配点			
技術評価点	実績評価	設計業務	・設計管理技術者の実績	10	20	120
		建設業務	・総括責任者の実績	10		
	技術提案	業務全般	・業務全体の実施方法 ・全体工程管理 ・企業姿勢、体制	20	100	
		設計業務	・患者、スタッフへの配慮 ・災害に強く、変化に対応できる施設整備 ・コスト、環境を考慮した施設を実現するための具体的な方法	45		
		建設業務	・施工計画 ・施工中の対策 ・開院準備への協力、運用サポート	15		
		地域貢献	・町内企業への発注や地域との連携等による地域経済への貢献	20		
価格評価点			・入札価格による評価点			30
総合評価点					150	

(3) 評価の方法

① 技術提案の評価

【実績評価】

参加資格申請時に提出された配置技術者の実績について、配置技術者ごとに設定した実績評価項目の評価基準に基づき評価を行った。

【技術提案評価】

提出された技術提案書及びヒアリングにより、各評価項目について評価を行い、以下に示す評価に該当する点数により評価を行った。

評価	評価点 (配点×掛け率)
A：大変優れている	配点 × 1.0
B：優れている	配点 × 0.7
C：普通	配点 × 0.4
D：やや不十分	配点 × 0.1

② 価格の評価

提出された入札価格を次式に従って換算した。

(ただし、有効桁数は小数点以下第2位とし、小数点以下第3位を四捨五入する。)

- ア. 町の設定した調査基準価格以上、予定価格以下で応札したもの
 入札参加者の価格評価点 (0.00~30.00)

$$= 30 \times [(\text{予定価格} - \text{入札価格}) / (\text{予定価格} - \text{調査基準価格})]$$
- イ. 町の設定した調査基準価格以下で応札したもの
 入札参加者の価格評価点 = 一律 30 点

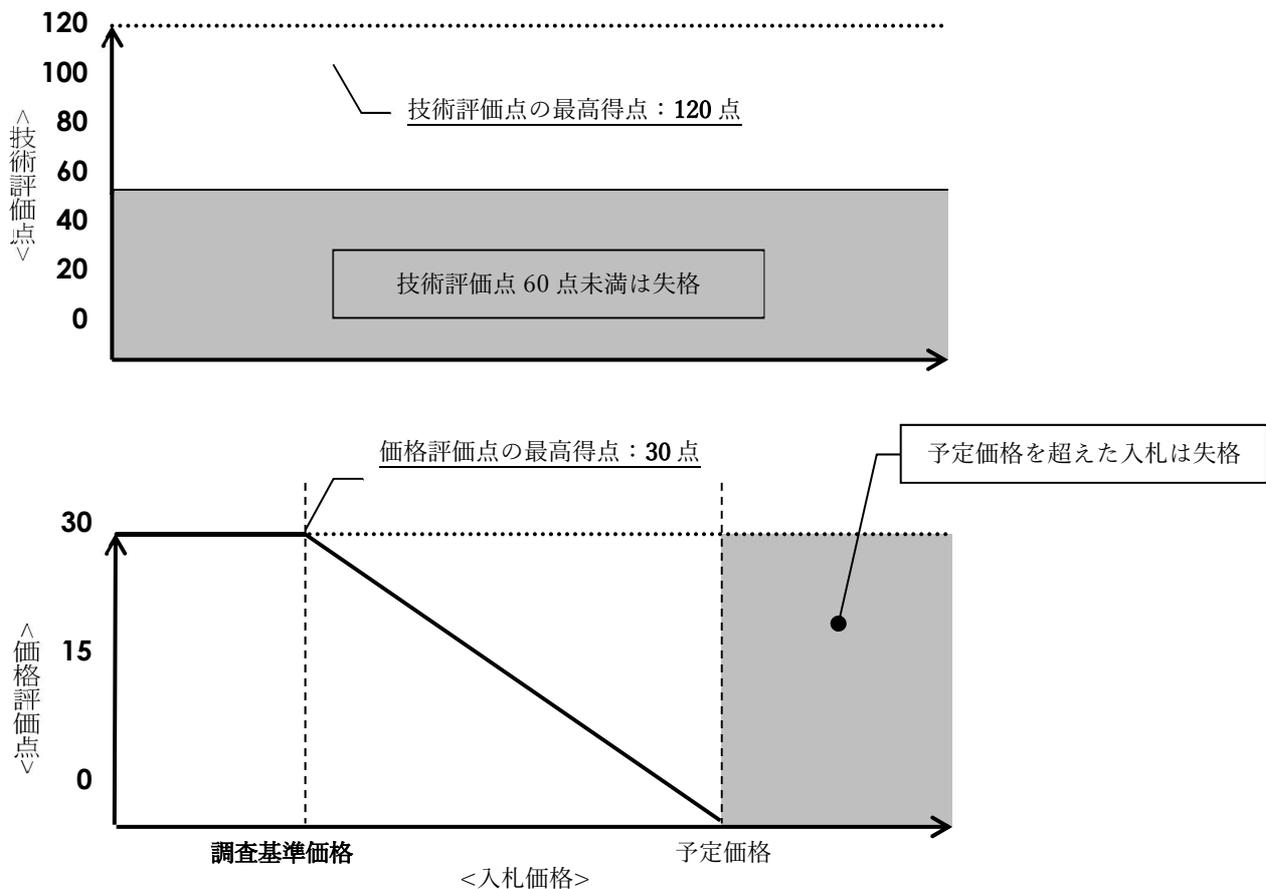


図 技術評価点及び価格評価点のイメージ

4. 審査経緯

(1) 参加資格審査

提出された入札参加表明書の書類審査を実施した結果、提出のあった者は参加資格を満たしていることを確認した。

(2) VE 提案審査

令和4年6月20日、第2回選定委員会を開催し、VE 提案書を提出した者に対しヒアリングを行い VE 提案採否の審議を行った。審査結果は、以下のとおり。

採 用	8 項目
条件付き採用	14 項目
不 採 用	12 項目
計	34 項目

(3) 技術提案審査

令和4年7月22日、第3回選定委員会を開催し、技術提案書を提出した者に対しヒアリングを行い技術提案の審査を行った。審査結果は、以下のとおり。

評価区分・評価項目・配点					清水・北海電工・池田 異業種特定建設 共同企業体	
技術 評価 点	実績 評価	設計業務	・設計管理技術者の実績	10	10.00	10.00
		建設業務	・総括責任者の実績	10	00.00	
	技術 提案	業務全般	・業務全体の実施方法 ・全体工程管理 ・企業姿勢、体制	20	15.98	72.41
		設計業務	・患者、スタッフへの配慮 ・災害に強く、変化に対応できる施設整備 ・コスト、環境を考慮した施設を実現するための 具体的な方法	45	31.50	
		建設業務	・施工計画 ・施工中の対策 ・開院準備への協力、運用サポート	15	10.93	
		地域貢献	・町内企業への発注や地域との連携等による 地域経済への貢献	20	14.00	
価格評価点			・入札価格による評価点	30	0.12	
総合評価点				150	82.53	

5. 落札者の決定

落札者決定基準に基づき、総合評価点が最も高い者を落札候補者として選定し、以下のとおり上富良野町に報告した。

落札候補者 名 称 清水・北海電工・池田 異業種特定建設共同企業体（乙型 JV）
乙型 JV 代表：清水建設株式会社 北海道支店
構成員 清水・アラタ・高橋 建築工事建設共同企業体（甲型 JV）
甲型 JV 代表：清水建設株式会社 北海道支店
北海電工・田中 電気設備工事建設共同企業体（甲型 JV）
甲型 JV 代表：北海電気工事株式会社
池田・西塚・志賀 機械設備工事建設共同企業体（甲型 JV）
甲型 JV 代表：池田煖房工業株式会社 道北支店

6. 審査講評

上富良野町では、上富良野町立病院改築工事（以下「本工事」という。）に際し、基本的要求水準を満たし、より良い新病院を予定価格の制限の範囲内で病院移転の期日までに確実に施工することが必要であるため、実施設計段階から施工業者の優れた技術と経験を取り入れることにより、工事費等の低減または工期短縮のほか、品質や機能の向上のための技術提案（以下、「VE 提案」という。）を受けて入札を行い、受注者が実施設計及び施工を一括して行う「設計・施工一括発注方式」を採用し、本工事を発注するための事業者を総合評価一般競争入札（以下「本入札」という。）により決定することとした。

落札者の決定に際しては、学識経験者 2 名と庁内委員 5 名で構成する上富良野町立病院改築工事評価選定委員会（以下「選定委員会」という。）において、VE 提案審査及びその採否を踏まえた入札・技術提案審査により、評価点が最も高い者を落札候補者として決定する 2 段階審査選考方式を採用した。

評価は、価格と価格以外の要素を総合的に評価することとし、価格については、基本設計及び要求水準書に基づき、品質を確保しつつコストを縮減するための VE 提案を求め、その採否を踏まえた入札を行った。価格以外については、設計業務や建設業務の配置技術者の実績を評価するとともに、本業務全体の実施方法や工程管理、設計業務の配慮事項や防災面、コスト・環境面での提案、建設業務の施工計画などの提案、地域との連携等による地域経済への貢献に対する提案を求めた。

入札参加表明書及び添付書類における入札参加資格審査を経て、提出された VE 提案については、提案者の豊富な施工実績を踏まえた現実的な提案が多く、発注者側の考える要求水準を満たし、コスト低減に一定の効果が認められる提案については、選定委員会で審査の上で採用することとした。

技術提案については、提案者の知識、経験、技術の高さが活かされた多岐にわたる提案がなされ、また、病院建築における設計・施工の豊富な実績を踏まえた検討がなされており、選定委員会においては、要求水準や基本設計の意図を踏まえた実施可否や質疑応答が行われた結果、業務全般に対する提案や開院準備への協力・運用サポートに係る提案が高い評価を得た。

今後は、本入札において提案された技術提案及び VE 提案に留まることなく、更なる技術的提案に加え、病院運営に効果的な提案がなされることを期待する。

終わりに、本入札の関係者の皆様及び真摯にご提案いただきました入札参加者には、心から感謝し敬意を表するとともに、本事業の成功を心より祈念する。

令和 4 年 7 月 29 日

上富良野町立病院改築工事評価選定委員会

委員長（北海道大学大学院工学研究院教授） 森 傑